

第 88 回 発電用設備規格委員会 核融合専門委員会 議事録

1. 日時 :2025 年 3 月 11 日 (火) 13:30～15:10
2. 場所 :Webex による Web 会議
3. 出席者:委員 15 名、欠席者 0 名、オブザーバー 1 名
中平委員長(QST)、澁鋤副委員長(IHI)、戸張幹事(QST)、橋爪(東北大)、
中曽根(東京理科大)、中田(金沢工大)、中村(IHI 検査計測)、
一ノ瀬(レゾナック・テクノサービス)、稲垣(東芝 ESS)、山田(金属技研)、
折田(三菱重工)、沖津(日立)、桑水流(福井大)、中嶋(NAT)、宇藤(QST)
オブザーバー:石川(QST)、

(以上敬称略)

4.配布資料

- | | |
|------------|----------------------------------|
| 資料 88-1 | 第 88 回核融合専門委員会 議事次第(案) |
| 資料 88-2 | 第 88 回核融合専門委員会 配布資料(案) |
| 資料 88-3 | 第 87 回発電用設備規格委員会 核融合専門委員会 議事録(案) |
| 資料 88-4 | 第 112 回発電用設備規格委員会議事録(案) |
| 資料 88-5 | 第 27 回金属構造物分科会 議事録(案) |
| 資料 88-6 | 第 38 回非金属構造物分科会 議事録(案) |
| 資料 88-7 | 核融合専門委員会メール審議 No.16 結果報告 |
| 資料 88-8 | ASME Sec.III Div.4 報告 |
| 資料 88-9 | 原型炉設計合同特別チーム第 19 回全体会合について |
| 資料 88-10-1 | 核融合専門委員会委員について |
| 資料 88-10-2 | 核融合専門委員会委員名簿 |

5. 議事

(1) 開会

中平委員長より開会が宣言された。

(2) 議事次第、配布資料確認【資料 88-1、88-2】

議事次第案の確認、および配付資料に過不足がないことを確認した。

(3) 前回議事録案の承認【資料 88-3】

第 87 回発電用設備規格委員会 核融合専門委員会議事録(案)の確認を行った。事前確認の際のコメントを反映済みであり、他にコメントがあれば本会終了までに連絡していただくこととした。(特段のコメントは無く、同議事録案は承認された。)

(4) 報告事項

(4-1) 第 112 回発電用設備規格委員会報告【資料 88-4】

戸張幹事より、2024 年 12 月 24 日(火)に開催された第 112 回発電用設備規格委員会について以下の報告があった。なお、議事録案に間違いあり、JSME 事務局へ修正依頼をすることとなった。

- ・ 核融合専門委員会の人事が承認されたこと、及び核融合専門委員会の活動内容を説明したこと。
- ・ NBI 高電圧ブッシング用絶縁円筒構造規格については、外部専門家レビュー、核融合専門委員会の再度の投票を経たうえで、改訂版を発電用設備規格委員会に提案することを了解いただいたこと。及び、外部専門家レビューの意見を 3 月の発電用設備規格委員会に説明すること。
- ・ BRIDGE プログラムについては、10/E に開催された ASME Code Committee に出席し、今後の原型炉の規格化・国際標準化の活動計画及び JSME-ASME 協力の枠組み・進め方などについて提案・協議を行ったことを説明したこと。なお、議事録案に記載の質疑応答内容については、発電用設備規格委員会出席者間で確認することとした。

(4-2) 第 27 回金属構造物分科会報告【資料 88-5】

宇藤委員より、第 27 回金属構造物分科会の報告として、今後の超伝導マグネット構造規格のレビューを効率的に進めるため、各章に対し担当を決め進めること、リミットセットの定義等について見直しを図る予定であることが報告された。

(4-3) 第 38 回非金属構造物分科会報告【資料 88-6】

戸張幹事より、第 38 回非金属構造物分科会において、前回分科会以後から現在までの NBI 高電圧ブッシング用絶縁円筒構造規格(案)に関する核融合専門委員会及び発電用設備規格委員会での協議・審議の経緯、及び専門家レビューの結果を説明したところ、若干の誤記指摘があったものの、それを修正したうえでこの規格案が了解されたことが報告された。

(4-4) 核融合専門委員会メール審議 No.16 結果報告【資料 88-7】

戸張幹事より、メール審議 No.16 は可決され、これに伴い、NBI 高電圧ブッシング用絶縁円筒構造規格(案)は書面投票 No.52 として投票実施中との報告があった。

なお、メール審議 No.16 の議案名「核融合専門委員会書面投票 No.51 を開始することの承認」について、「No.51」は当初予定していた番号であり、メール審議 No.16 と当該投票の間に別の書面投票が入ったため、結果として当該投票は No.52 となったとの説明があった。今後は、誤解無きよう、議案名に注意することとした。

(4-5) ASME Sec.III Div.4 報告【資料 88-8】

洪鋏副委員長より、2025 年 2 月 2 日～7 日に開催された ASME Code week の ASME Sec.III

Div.4 に関する内容が報告された。

QA に関して、日本作成の JSME のマグネット規格の内容が国際的に受け入れられるのか懸念があるとのコメントがあり、必要に応じ今後協議する旨の回答があった。

(4-6) 原型炉設計合同特別チーム第 19 回全体会合について【資料 88-9】

中平委員長より、Bridge プログラムの令和 6 年度の報告会が 3 月 17 日～19 日に実施される旨の紹介があった。

(5) 審議事項

(5-1) 委員の退任・再任・新任

① 核融合専門委員会委員の再任【資料 88-10-1】

- ・ 一ノ瀬委員の再任が了解され、発電用設備規格委員会に上申して承認を得ることとした。

(5-2) 核融合専門委員会書面投票 No.52 「NBI 高電圧ブッシング用絶縁円筒構造規格及び技術背景(案)の承認」可決後の扱いについて

戸張幹事より、核融合専門委員会書面投票 No.52 が可決となった場合の第 113 回発電用設備規格委員会(3 月 28 日開催)への上申可否について審議依頼があった。

審議の結果、意見無しで可決された場合のみ、第 113 回発電用設備規格委員会へ上申することが全会一致で承認された。

(6) その他

(6-1) 次回日程

次回の第 89 回核融合専門委員会は、2025 年 6 月 10 日(火)を予定とし Web 会議で実施することとした。

以上